



中央通り線

むかし
いま



みかん狩り(昭和48年)



寄居町合併20周年記念パレード



寄居駅南口(昭和40年代)

いま
むかし

70th



特集

寄居町 合併70年の あゆみ

昭和30年(1955年)2月11日、当時の寄居町、折原村、用土村、鉢形村、男衾村が合併し、今の「寄居町」が誕生しました。そして、令和7年(2025年)2月11日に寄居町は合併70周年を迎えます。

今回の特集では寄居町の合併から現在に至るまでのあゆみを振り返ります。

図プロモーション戦略課
(☎581・2121内線451)



Looking back on
the history of Yorii Town

1955-

- 1955 昭和30年 寄居町、折原村、用土村、鉢形村、男衾村が合併し、新寄居町が誕生
円良田湖(ダム)が完成
- 1956 昭和31年 第1回合併記念駅伝競走実施
- 1957 昭和32年 新正喜橋開通
- 1959 昭和34年 折原中学校と鉢形中学校を統合し、城南中学校開校
- 1962 昭和37年 埼玉県立寄居高等学校開校
- 1964 昭和39年 玉淀ダム完成



第1回合併記念駅伝競走実施

1965-

- 1967 昭和42年 第22回国民体育大会(卓球)開催
- 1970 昭和45年 桜沢小学校新校舎完成・移転
- 1973 昭和48年 第1回産業祭開催
- 1974 昭和49年 農免道路(鉢形～男衾)開通

昭和30年代、日本全体が高度経済成長の時代に入り、国民生活は大きく変化しました。寄居町でも大きな変動の中で、水道・道路・学校などの生活基盤の整備が行われました。

振り返る
あの時代この時代

表紙の人



幾瀬さん
寄居町出身、
東京都在住

今月号の表紙は昭和32年ごろ、玉淀駅のホームで電車を待つ女の子。当時の思い出をご本人から伺うことができました。

「祖母が電車で東京に出かけるときに荷物運びを手伝い、玉淀駅で見送りました。この写真はそのときのもので、おそらく兄が撮影したものでしょう。叔父や叔母が東京に住んでいたこともあって、東武東上線に乗って、デパートや上野動物園、豊島園に行きました」

子どもの頃の様子について伺うと「岩崎公園で運動会や盆踊り、当時は公園に舞台があって演劇や映画を楽しみました。スーパーはなかったので、商店街で買い物をしました。ネオンや街灯の輝きで商店街はにぎやかでした。お店の名前は今でも覚えていますよ」と当時を振り返ります。合併70周年を迎える寄居町については「『住みたい』『働きたい』と思えるような活気にあふれた町になってほしいと願っています」と話してくれました。